

地方都市行政調査 報告書

委員会	議会運営委員会		
調査年月日	令和8年2月4日（水）	調査場所	三重県いなべ市
委員	委員長 工 藤 てつや 副委員長 たがた 直 昭 副委員長 へんみ 圭 二 委員 伊藤 のぶゆき 委員 くじらい 実 委員 岡 田 将 和 委員 長井 まさのり 委員 石毛 かずあき 委員 ぬかが 和 子 委員 はたの 昭 彦 議長 た だ 太 郎 副議長 くぼた 美 幸		

調査項目	議会改革の取り組みについて
調査の目的	いなべ市議会における議会改革の取り組みを研究し、足立区議会における議会改革の参考とする。
調査内容	いなべ市議会では、議会改革を「改革のための改革」にしないよう、その先に「市民の福祉向上」があることを明確にしている。 いなべ市議会の特徴は、「議会基本条例の検証を毎年1回行う」と規定している点である。 さらに、毎年「検証評価特別委員会」を設置し、自己評価（議員個々に活動の振り返り）を行い、不足している点や継続すべき点を議論して議長への答申の実施や議員同士による議案勉強会の実施等様々な議会改革に取り組んでいる。 このようないなべ市議会の議会改革の取り組みを調査した。
主な質疑	（問）議案審議を強化する体制の一つとして議案勉強会の開催をしているが、どのような効果があったか。 （答）論点を整理することで、賛成・反対それぞれの討論が活発に行われるようになった。 （問）一問一答形式のメリットについて伺う。 （答）一問一答は、聞いている市民にとって分かりやすいのが最大のメリット。 （問）みんなの声カフェについて伺う。 （答）市民からリクエストがあったテーマについて、所管の委員が出向いて意見交換を実施。意見交換したことは、全議員で共有し、討議し、所管の委員会へ引継ぎ、議会の対応を市民へフィードバックしている。 （問）全員懇談会で意見が対立した時の集約方法はどうしているか伺う。 （答）全員懇談会は「運営の振り返り」が主目的。議案の内容そのものについて話すとは「一時不再議」に抵触するため、あくまで運営の改善点を話し合っている。
委員長所見・区政に活かせる点等	議会基本条例に基づく議会活動の検証評価、また議案審議を強化する体制として、議案勉強会、論点整理、積極的な討議・討論、定期的な全員懇談会、さらに主権者教育の一環として親子議会体験ツアーの取組内容や実情について、視察時には議会運営委員会の委員長、副委員長から直接説明をいただき、大変参考になった。 当区も、議会基本条例制定に向けて様々な議論をしているところであるため、今後の議論に活かして参りたい。

地方都市行政調査 報告書

委員会	議会運営委員会		
調査年月日	令和8年2月5日（木）	調査場所	大阪府和泉市
委員	委員長 工 藤 てつや 副委員長 たがた 直 昭 副委員長 へんみ 圭 二 委 員 伊藤 のぶゆき 委 員 くじらい 実 委 員 岡 田 将 和 委 員 長井 まさのり 委 員 石毛 かずあき 委 員 ぬかが 和 子 委 員 はたの 昭 彦 議 長 た だ 太 郎 副議長 くぼた 美 幸		

調査項目	議会改革の取り組みについて
調査の目的	和泉市議会における議会改革の取り組みを研究し、足立区議会における議会改革の参考とする。
調査内容	和泉市議会は、平成18年に「議会改革検討会議」を設置したが、市議会を取り巻く状況も変化し、改めて議会改革を推進するため検討の場が必要との意見もあり、令和5年に「議会改革活性化会議」を設置し、様々な議会改革に取り組んでいる。 主に、UDトーク・ヒアリンググループの導入、一般質問における議場内モニターへの資料表示、電子採決の導入等、開かれた議会に向けて様々な議会改革に取り組んでいる。 このような和泉市議会の議会改革の取り組みを調査した。
主な質疑	（問）配信画面での資料表示に至った経緯について伺う。 （答）広報広聴委員会で、傍聴者・視聴者にとって「分かりやすく表示した方がいい」という意見が出たため、事務局で検討し導入した。 （問）子ども議会について伺う。 （答）年1回、市内の小・中学生が議場に集まり、子ども議員として提言を行っている。 （問）UDトーク導入の目的及び成果と課題は何か。 （答）聴覚障がい者等にも会議を円滑に傍聴していただけるような環境を整備し、傍聴の充実を図るため導入した。成果は、聴覚障がい者が複数名傍聴に来られたこと。また、会議音声モニターに表示させるだけでなく、テキストデータとして取り出せるため、議事録等を効率よく作成できること。課題は、UDトーク内容を確認し、どの単語に誤変換が多いのかを研究し、より精度の高い情報を傍聴者に提供すること。 （問）市民アンケートについて伺う。 （答）市議会だより及び公式LINEにてウェブによるアンケートを実施。広報広聴委員会において中間報告と最終報告を行った。
委員長所見・区政に活かせる点等	令和5年以降は、100項目の議会改革を目指し、議会のインターネット配信、UDトーク・ヒアリンググループの導入、一般質問における議場内モニターへの資料提示、電子採決の導入など、様々な議会改革の取り組みについて伺うことができた。 和泉市議会は、全国の議会の中でも特に先進的な取り組みが行われており、当区も、より開かれた議会を目指し、今後の参考にして参りたい。

地方都市行政調査 報告書

委員会	議会運営委員会		
調査年月日	令和8年2月6日（金）	調査場所	京都府京都市
委員	委員長 工 藤 てつや 副委員長 たがた 直 昭 副委員長 へんみ 圭 二 委 員 伊藤 のぶゆき 委 員 くじらい 実 委 員 岡 田 将 和 委 員 長井 まさのり 委 員 石毛 かずあき 委 員 ぬかが 和 子 委 員 はたの 昭 彦 副議長 くぼた 美 幸		

調査項目	議会改革の取り組みについて
調査の目的	京都市会における議会改革の取り組みを研究し、足立区議会における議会改革の参考とする。
調査内容	京都市会では、平成26年3月に、京都市会基本条例を制定し、監視機能の充実や議決権の強化、開かれた市会、見える市会・伝わる市会の推進などの観点から、様々な改革を実施してきた。 主な議会改革の取り組みについては、委員間討議の活性化により市政の課題についての論点の明確化、デジタル活用としてバーチャル議場見学（HPから3Dで議場見学が可能）の実施、広聴・広報の取り組みとして京都市立芸術大学と連携し京都市会のプロモーションマーク及び同マークを使用したポスターデザインの制作などである。 このような京都市会の議会改革の取り組みを調査した。
主な質疑	（問）京都市会基本条例のパブリックコメントを行う際にどのような工夫をしたのか伺う。 （答）市会の広報だけでなく、議員がチラシを配ったりホームページで周知したりと、組織を挙げて周知した。 （問）参考人制度についての実績はあるか伺う。 （答）令和3年6月の総務消防委員会で実績あり。参考人の講演、会派の質疑時間を予め決めて実施した。 （問）予算・決算特別委員会（総括質疑）のチラシを市会だよりと別に新聞折込にしている理由は何か。 （答）総括質疑が終わってからなるべく早く配布したいことが理由だが、市会だよりは年7回の発行のため、タイムラグが生じる場合がある。そのため、予算・決算特別委員会（総括質疑）のチラシについては、総括質疑の日から約1ヶ月後の日曜日に発行の市内の新聞主要6紙に折り込み発送している。 （問）通年議会において、7月の特別会では一般質問も行うのか。 （答）基本的には請願の付託のみを行うため、本会議は1日で終了し、代表質問などは行っていない。
委員長所見・区政に活かせる点等	大学と連携し、市会のプロモーションマークを作成するなど、広聴・広報の積極的な取り組み等、開かれた市会をより一層推進することを目指した議会改革の取り組みは大変参考になった。 当区も議会活動の活性化・開かれた議会に向けて、議会改革に関する様々な施策について、調査・研究を重ね、さらに議論を深めていきたい。